

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2021.10.11-17**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 6:1 ヨブは答えて言った。
- 6:2 ああ、私の苦悶の重さが量られ、  
私の災害も共にはかりにかけられたら。  
6:3 それは、きっと海の砂よりも重かるう。  
だから、私のことばが激しかったのだ。
- 6:4 全能者の矢が私に刺さり、  
私のたましいがその毒を飲み、  
神の脅かしが私に備えられている。
- 6:5 野るばは若草の上で鳴くだろうか。  
牛は飼葉の上でうなるだろうか。
- 6:6 味の無い物は  
塩がなくて食べられようか。  
卵のしろみに味があるうか。
- 6:7 私はそんなものに触れるまい。  
それは私には腐った食物のようだ。
- 6:8 ああ、私の願いがかなえられ、  
私の望むものを  
神が与えてくださるとよいのに。
- 6:9 私を砕き、  
御手を伸ばして私を絶つことが  
神のおぼしめしであるなら、
- 6:10 私はなおも、それに慰めを得、  
容赦ない苦痛の中でも、  
こおどりして喜ぼう。  
私は聖なる方のことばを  
拒んだことがないからだ。
- 6:11 私にどんな力があるからといって、  
私は待たなければならぬのか。  
私にどんな終わりがあるからといって、  
私は耐え忍ばなければならぬのか。
- 6:12 私の力は石の力であろうか。  
私の肉は青銅であろうか。

6:13 私のうちには、  
何の助けもないではないか。  
すぐれた知性も  
私から追い散らされているではないか。

ヨブは動物を例にあげて、自分のうめきには根拠があることを主張します。同時にエリファズのことばは味の無い食物のように、愛のないものであることを暗にうたえます。  
エリファズの「正しい」ことばによってヨブは傷つき、またヨブは自分の正当性を主張します。苦難や問題が生じたときには、そのようなことが起きやすいものです。神は自分のイメージや経験や正しさを超えて存在する方であるということ、どこかで認めなければなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 6:14 落胆している者には、  
その友から友情を。  
さもないと、  
彼は全能者への恐れを捨てるだろう。
- 6:15 私の兄弟たちは川のように裏切った。  
流れている川筋の流れのように。
- 6:16 氷で黒ずみ、雪がその上を隠している。
- 6:17 炎天のころになると、それはなくなり、  
暑くなると、その所から消える。
- 6:18 隊商はその道を変え、  
荒地に行き、滅びる。
- 6:19 テマの隊商はこれを目当てとし、  
シェバの旅人はこれに期待をかける。
- 6:20 彼らはこれにたよったために恥を見、  
そこまで来て、はずかしめを受ける。
- 6:21 今、あなたがたは、そのようになった。  
あなたがたは  
恐ろしいことを見ておびえる。
- 6:22 私が言ったことがあるか。  
「私に与えよ。」とか、  
「あなたがたの持ち物の中から、  
私のために贈り物をせよ。」と。
- 6:23 あるいは「敵の手から私を救い出せ。  
横暴な者の手から私を贖え。」と。
- 6:24 私に教えよ。そうすれば、私は黙ろう。  
私がどんなあやまちを犯したか、  
私に悟らせよ。
- 6:25 まっすぐなことばはなんと痛いことか。  
あなたがたは何を責め立てているのか。
- 6:26 あなたがたはことばで  
私を責めるつもりか。  
絶望した者のことばは風のようなだ。

- 6:27 あなたがたは  
みなしごをくじ引きにし、  
自分の友さえ売りに出す。
- 6:28 今、思い切って  
私のほうを向いてくれ。  
あなたがたの顔に向かって、  
私は決してまやかしを言わない。
- 6:29 どうか、思い直してくれ。  
不正があってはならない。  
もう一度、思い返してくれ。  
私の正しい訴えを。
- 6:30 私の舌に不正があるだろうか。  
私の口は  
わざわいをわきまえないだろうか。

自分は正しい者なのに友人たちが「あなたが悪い」と責め立てるので、ヨブは苦しみの中から彼らを非難します。「裏切った」「おびえている」「みなしごをくじ引きにし」などです。ヨブの心には自己憐憫と自己正当化によって、また自己防衛のための他者攻撃でいっぱいになっています。できることならヨブもここで自分の中に罪性が潜んでいることに気づき、主の前に認めひれ伏すことができたら良かったのですが、まだそこには至りません。私たちは十字架の贖いによって新しくされたものです。どんな場合でも主の前に自分の足りなさを認めることができるでしょうか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ▶13日 水曜

### ヨブ記



- 7:1 地上の人には苦役があるではないか。  
その日々は  
日雇人の日々ではないか。
- 7:2 日陰をあえぎ求める奴隷のように、  
賃金を待ち望む日雇人のように、
- 7:3 私にはむなしい日々が割り当てられ、  
苦しみの夜が定められている。
- 7:4 横たわるとき、私は言う。  
「私はいつ起きられるだろうか。」と。  
夜は長く、  
私は暁まで寝返りをうち続ける。
- 7:5 私の肉はうじと土くれをまとい、  
私の皮は固まっては、またくずれる。
- 7:6 私の日々は機の杼よりも速く、  
望みもなく過ぎ去る。
- 7:7 思い出してください。  
私のいのちはただの息であることを。  
私の目は再び幸いを見ないでしょう。
- 7:8 私を見る者の目は、  
私を認めることができないでしょう。  
あなたの目が私に向けられても、  
私はもういません。
- 7:9 雲が消え去ってしまうように、  
よみに下る者は、  
もう上って来ないでしょう。
- 7:10 彼はもう自分の家に帰らず、  
彼の家も、もう彼を認めないでしょう。

当時の日雇人は現代社会とは違い奴隷のようであったのでしょう。それらの望みなく生きなければならぬ人と、自分は同じであるとヨブは言います。確かに一晩中眠れず、また皮膚の病は醜く悲惨な状態で悪化し、家族と財産を失った今は、もう死に希

望を見るしかない状態でした。よみに下ることをヨブは考えていたのです。

しかしこの苦しみがあったからこそ、ヨブは自分の非（人間的な罪や過失ではなく、全能者の前に自分の正しさを押し通そうとしたこと）を認めることができ、その後の人生を大いに祝福されたのです。

私たちには十字架の主イエスがおられます。自分の義を押し通す必要はありません。安心して非を認め、また時にはヨブのような苦しみの中にも希望があると信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 7:11 それゆえ、私も  
自分の口を制することをせず、  
私の霊の苦しみの中から語り、  
私のたましいの苦悩の中から嘆きます。
- 7:12 私は海でしょうか、  
海の巨獣でしょうか、  
あなたが私の上に見張りを置かれるとは。
- 7:13 「私のふしどが私を慰め、  
私の寝床が私の嘆きを軽くする。」と  
私が言うと、
- 7:14 あなたは夢で私をおののかせ、  
幻によって私をおびえさせます。
- 7:15 それで私のたましいは、  
むしろ窒息を選び、  
私の骨よりも死を選びます。
- 7:16 私はいのちをいといいます。  
私はいつまでも生きてくありません。  
私にかまわないでください。  
私の日々はむなししいものです。
- 7:17 人とは何者なのでしょう。  
あなたがこれを尊び、  
これに御心を留められるとは。
- 7:18 また、朝ごとにこれを訪れ、  
そのつどこれをためされるとは。
- 7:19 いつまで、あなたは  
私から目をそらされないのですか。  
つばをのみこむ間も、  
私を捨てておられないのですか。
- 7:20 私が罪を犯したといっても、  
人を見張るあなたに、  
私は何ができましょう。  
なぜ、私をあなたの的とされるのですか。  
私が重荷を

- 7:21 どうして、あなたは  
私のそむきの罪を赦さず、  
私の不義を除かれないのですか。  
今、私はちりの中に横たわります。  
あなたが私を捜されても、  
私はもうおりません。

ヨブのうったえは神まで及びます。ここに行き着いたようでもあります。神が自分をまるで怪物でもあるかのように攻撃し、また最後の安息である睡眠までもおびえるようにされる。「私はもうおりません」とヨブは神との関係をも断ち切りたい思いになってしまいました。

苦しきのゆえに神のせいにしてうったえるのは、理屈からいうと的外れなことです。罪は自分にあり、また災いはサタンから来るからです。しかし、神の子であるという憐れみによって、それは許されることでもあります。いずれにしても、その心は主に向いているからです。

わがままな子どものようではありますが、そのようにして主に甘え、または頼っているのです。主は愛によって包み、いやし、教え、導いてくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 8:1 シュアハ人ビルダデが答えて言った。
- 8:2 いつまであなたは  
このようなことを語るのか。  
あなたが口にすることばは  
激しい風ようだ。
- 8:3 神は公義を曲げるだろうか。  
全能者は義を曲げるだろうか。
- 8:4 もし、あなたの子らが神に罪を犯し、  
神が彼らをそのそむきの罪の手中に  
送り込まれたのなら、
- 8:5 もし、あなたが、熱心に神に求め、  
全能者にあわれみを請うなら、
- 8:6 もし、あなたが純粋で正しいなら、  
まことに神は今すぐ  
あなたのために起き上がり、  
あなたの義の住まいを回復される。
- 8:7 あなたの始めは小さくても、  
その終わりは、はなはだ大きくなる。
- 8:8 さあ、先代の人に尋ねよ。  
その先祖たちの探求したことを確かめよ。
- 8:9 私たちは、きのう生まれた者で、  
何も知らず、  
私たちの地上にある日は影だからである。
- 8:10 彼らはあなたに教え、  
あなたに語りかけ、  
その心からことばを出さないだろうか。

ビルダデもヨブに忠告しますが、それは生きた神様との交わりによるものではなく、過去の人に根拠を置いたものでした。伝統や習慣と、それらの中から彼自身の主張に合うものを取り上げたに過ぎないのです。

クリスチャーンの伝統であるなら概ね主の御心にか

なったものでしょう。しかし、根拠が違うならそれは、過去や「先代の人」を神としていることとなります。その結果ビルダデはまたも因果応報的な考えを押し付けて、ヨブに実りのない忠告をすることになります。（後に主の怒りの対象となり、また真実ではなかったと言われていました。）

人や伝統ではなく主のことばによって導かれましょう。すなわち聖書によって、生きた主と交わりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 8:11 パピルスは沼地でなくても育つだろうか。  
葦は水がなくても伸びるだろうか。
- 8:12 これは、まだ若芽のときには刈られないのに、ほかの草に先立って枯れる。
- 8:13 すべて神を忘れる者の道はこのようだ。  
神を敬わない者の望みは消えうせる。
- 8:14 その確信は、くもの糸、その信頼は、くもの巣だ。
- 8:15 彼が自分の家に寄りかかると、家はそれに耐えきれない。  
これにすがりつくと、それはもちこたえない。
- 8:16 彼が日に当たって青々と茂り、その若枝は庭に生えいで、
- 8:17 その根は石くれの山にからまり、それが岩間に生えても、
- 8:18 神がもし、その場所からそれを取り除くと、その場所は「私はあなたを見たことがない。」と否む。
- 8:19 見よ。これが彼の道の喜びである。  
ほかのものがその地から芽を出そう。
- 8:20 見よ。神は潔白な人を退けない。  
悪を行なう者の手を取らない。
- 8:21 ついには、神は笑いをあなたの口に満ちし、喜びの叫びをあなたのくちびるに満たす。
- 8:22 あなたを憎む者は恥を見、悪者どもの天幕は、なくなってしまふ。

ビルダデがヨブに助言します。神を忘れる者の道として、枯れるパピルスやくもの糸の家などと同じで悲惨なのだと言います。ヨブが神を忘れた者なので、そのように悲惨になったのだという意図は明確です。

彼の言うことは正しいのですから、私たちはそれを謙虚に受け入れる必要があります。それと同時にそれは一面の真理でしかありません。すなわち因果応報的であり、律法主義的なのです。

律法によって自分の正しさを認めてもらうとする人は、神から罪を指摘されることとなります。しかし、恵によって罪を認める者は、神から義と認められるのです。

正しい生き方をしながらも、恵によって赦され新しくされ、感謝しながら生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 9:1 ヨブは答えて言った。  
 9:2 まことに、そのとおりであることを私は知っている。  
 しかし、どうして人は自分の正しさを神に訴えることができるか。  
 9:3 たとい神と言い争おうと思っても、干に一つも答えられまい。  
 9:4 神は心に知恵のある方、力の強い方。神に身をこわくして、だれがそのまま済むだろうか。  
 9:5 神が山々を移されるが、だれもこれに気づかない。  
 神は怒ってこれをくつがえされる。  
 9:6 神が地をその基から震わすと、その柱は揺れ動く。  
 9:7 神が太陽に命じると、それは上らない。星もまた封じ込められる。  
 9:8 神はただひとりで天を張り延ばし、海の大波を踏まれる。  
 9:9 神は牡牛座、オリオン座、すばる座、それに、南の天の室を造られた。  
 9:10 神は大いなることを行なって測り知れず、その奇しいみわざは数えきれない。  
 9:11 たとい神が私のそばを通り過ぎてても、私には見えない。  
 神が進んで行っても、私は認めることができない。  
 9:12 ああ、神が奪い取ろうとすると、だれがそれを引き止めることができるか。  
 だれが神に向かって、「何をされるのか。」と言えよう。

- 9:13 神は怒りを翻さない。  
 ラハブを助ける者たちは、みもとに身をかがめる。  
 9:14 いったい、この私が神に答えられようか。  
 私が神とことばを交せようか。  
 9:15 たとい、私が正しくても、神に答えることはできない。  
 私をさばく方にあわれみを請うだけだ。  
 9:16 たとい、私が呼び、私に答えてくださったとしても、神が私の声に耳を傾けられたとは、信じられない。  
 9:17 神はあらしをもって私を打ち砕き、理由もないのに、私の傷を増し加え、  
 9:18 私に息もつかせず、私を苦しみで満たしておられる。  
 9:19 もし、力について言えば、見よ、神は力強い。  
 もし、さばきについて言えば、だれが私を呼び出すことができるか。  
 9:20 たとい私が正しくても、私自身の口が私を罪ある者とし、たとい私が潔白でも、神は私を曲がった者とされる。

ヨブはビルダデに同意します。神は絶対者で、人間が訴えることも言い争うことも、また妨げることもできません。私たちも「神には逆らえず、私は愛されていない」と感じてしまうことがあるかもしれません。

しかし、ヨブにはまだ二つのことに気づく余地があります。ひとつは「正しい」というのは、あくまでも人と比べてのことであって神の絶対の前には罪人であるということです。神は心をごらんになるからです。もうひとつは「神は赦すお方

である」ということです。恵は義の大きさよりも勝るのです。ただ十字架に感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

